

事務事業名 脳ドック助成事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	005	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 国民健康保険特別会計

部 名	保健福祉部	グループ名	国民健康保険 G
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	脳ドックを受診することにより、脳血管疾患などを早期に発見し、早期治療につなげることを目的とします。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	脳ドックを受診した被保険者に対し、次のとおり検査料金の一部を助成した。 ・頭部MRI、頸部MRA実施の医療機関～検査料金21,000円の内、市で17,000円を補助し、本人自己負担額は4,000円 ・脳CTスキャン実施の医療機関～検査料金10,500円の内、市で8,500円を補助し、本人自己負担額は2,000円 受診料の助成は、2年に1回としている。 【事業実績】(3月末時点) ・頭部MRI、頸部MRA実施の医療機関：264人 ・脳CTスキャン実施の医療機関：104人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	脳血管疾患等の早期発見・早期治療につなげるためにも事業を継続していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

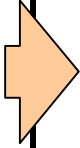
《Plan・Do》

区分	単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金 名称	千円					
道支出金 名称	千円					
地方債 名称	千円					
その他 名称	千円	5,883	5,372	6,970	6,970	6,970
一般財源 名称	千円					
事業費合計		5,883	5,372	6,970	6,970	6,970

指標の推移

《Check》

区分	単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	円	目標値	4,339	9,316	9,316	9,316	9,316
		実績値	3,990	10,348			
		目標値					
		実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
負担割合：本人自己負担額は2,000円か4,000円 頭部MRI、頸部MRA実施機関に受診者枠の制限あり		
	今後も受診しやすい負担額で継続していく。 定員超過の場合には過去の受診歴もみながら抽選を行い受診機会の公平性を保った。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？		市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 脳ドックについては、受診しやすい環境づくりが重要であることから、市が受診料を助成することは妥当である
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？		市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 脳疾患の早期発見・早期治療につながるため必要性は高い。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？		低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 市が受診料を助成する必要がある
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？		成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 H23年5月比Pt分析1人当たり医療費は全道平均以上になっているが、平成23年度の受診者のうち約3割に動脈硬化等も含めた所見がみられており、早期発見・早期治療につながっていると考えられる。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	脳ドックは、疾病の早期発見・早期治療につながるため、事業を維持していく。
----	----------------------	--------------------------------------

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--